

東京外かく環状道路（千葉県区間）
供用後環境監視の調査結果について（案）

令和元年 8月30日

国土交通省 首都国道事務所

東日本高速道路(株)千葉工事事務所

東京外かく環状道路（千葉県区間）供用後環境監視 の調査結果について

この度、東京外かく環状道路（千葉県区間）が平成30年6月2日の供用に伴い、平成28年8月に公表した「東京外かく環状道路（千葉県区間）供用後環境監視計画」に基づき、供用1年目の調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

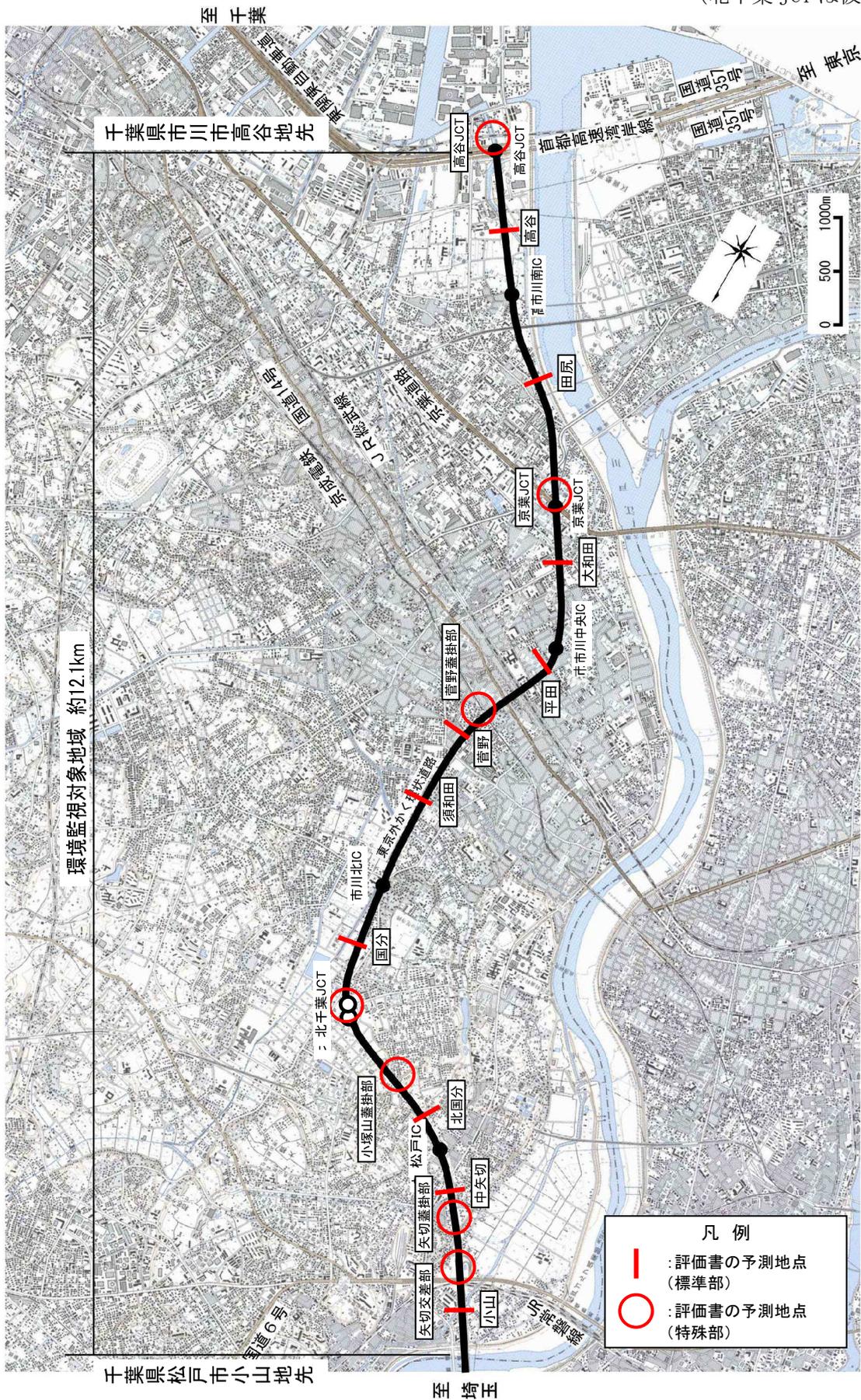
【今回の調査結果】

調査の結果、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、環境基準を満足し、騒音及び振動については、環境基準（環境保全目標）を満足する結果となりました。地下水位については、工事中に一部の箇所では水位が低下したものの、工事完了後には工事前とほぼ同一の水位に戻っています。

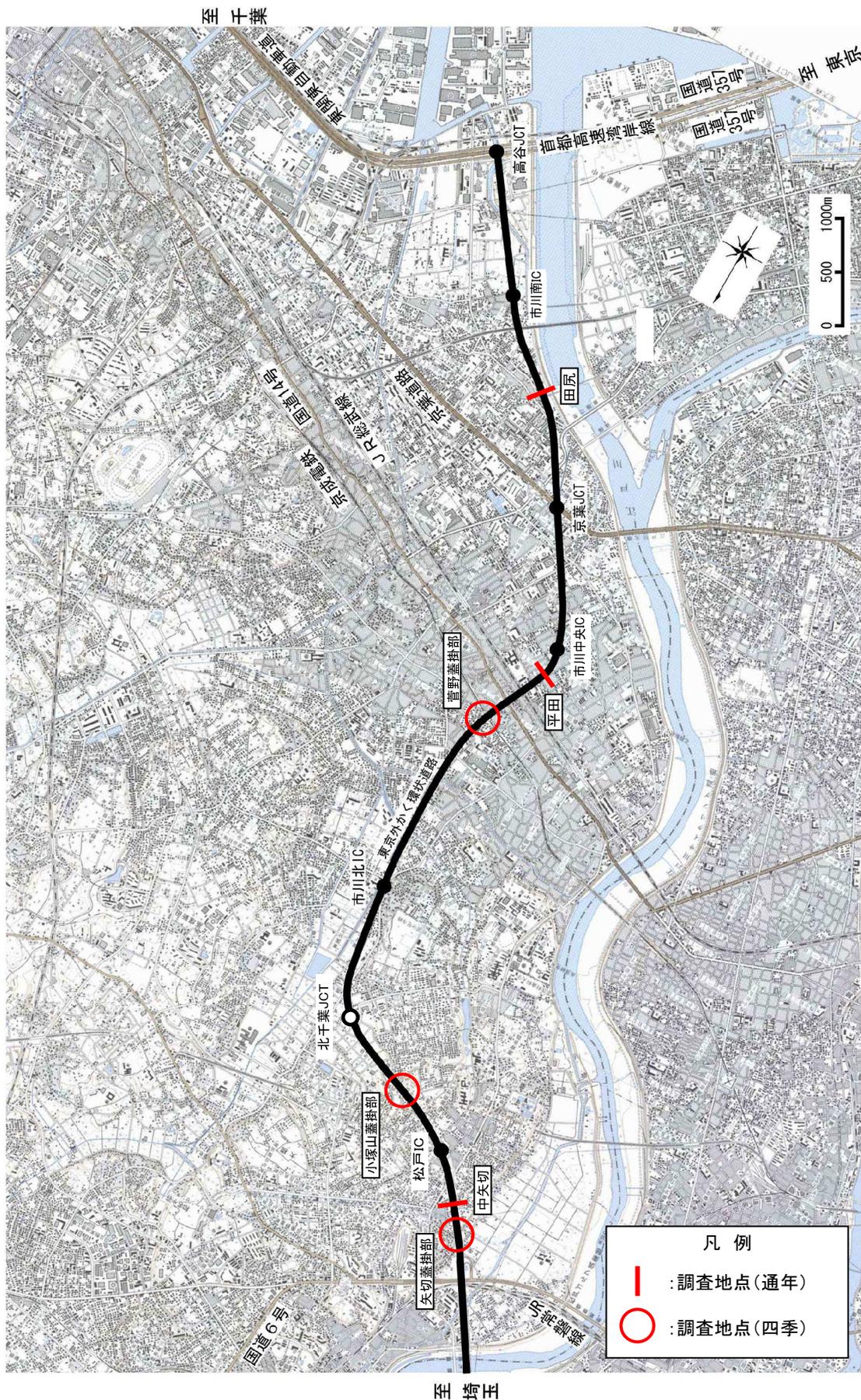
1. 環境監視対象地域

環境監視対象地域は、千葉県松戸市小山地先から千葉県市川市高谷地先とする。

(北千葉 JCT は仮称)



2. 大気質調査地点位置図



2-1 大気質調査結果

調査期間：H30.6.2～R1.6.1（365日間）

(1) 二酸化窒素（NO2）

	調査箇所	測定時間	長期的評価		環境基準
			1日平均値の年間98%値	評価	
			時間		
標準部	中矢切	8,709	0.042	○	(長期的評価) 1時間値の1日平均値が 0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内またはそれ以下で あること 1日平均値の年間98% 値と比較して評価する
	平田	8,709	0.051	○	
	田尻	8,707	0.043	○	
蓋掛部	矢切	672	※1 0.034	○	
	小塚山	672	※1 0.037	○	
	菅野	672	※1 0.034	○	
周辺一般局 ※2	市川新田 ※3	7,180	0.040	○	
	市川本八幡	7,070	0.038	○	
	市川市市川	8,459	0.039	○	
	市川市稲荷木	7,474	0.043	○	

(2) 浮遊粒子状物質（SPM）

	調査箇所	測定時間	短期的評価			長期的評価			環境基準
			1時間値の1日平均値の最高値	1時間値の最高値	評価	1日平均値の年間2%除外値	環境基準を超える日が2日以上連続したことの有無	評価	
			時間	mg/m3		mg/m3	mg/m3		
標準部	中矢切	8,709	0.041	0.077	○	0.035	無	○	(短期的評価) 1時間値の1日平均値が 0.10mg/m3以下であり、かつ、1 時間値が0.20mg/m3以下である こと (長期的評価) 1時間値の1日平均値が 0.10mg/m3以下であること 1日平均値の2%除外値と 比較して評価する ただし環境基準を超える日 が2日以上連続する場合は 非達成
	平田	8,709	0.038	0.157	○	0.033	無	○	
	田尻	8,707	0.044	0.126	○	0.038	無	○	
蓋掛部	矢切	672	0.033	0.068	○	※1 0.033	無	○	
	小塚山	672	0.027	0.051	○	※1 0.027	無	○	
	菅野	672	0.025	0.053	○	※1 0.025	無	○	
周辺一般局 ※2	市川新田 ※3	7,180	0.054	0.098	○	0.040	無	○	
	市川本八幡	7,070	0.050	0.103	○	0.040	無	○	
	市川市市川	8,459	0.051	0.108	○	0.042	無	○	
	市川市稲荷木	7,474	0.081	0.193	○	0.048	無	○	

※1 四季調査で長期評価ができないため、期間中の1日平均値の最大値を示している

※2 「大気汚染物質広域監視システム(そらまめ君)」からダウンロードした速報値を元に集計

※3 市川新田測定局:2019年3月31日廃止

【参考】最大測定時間

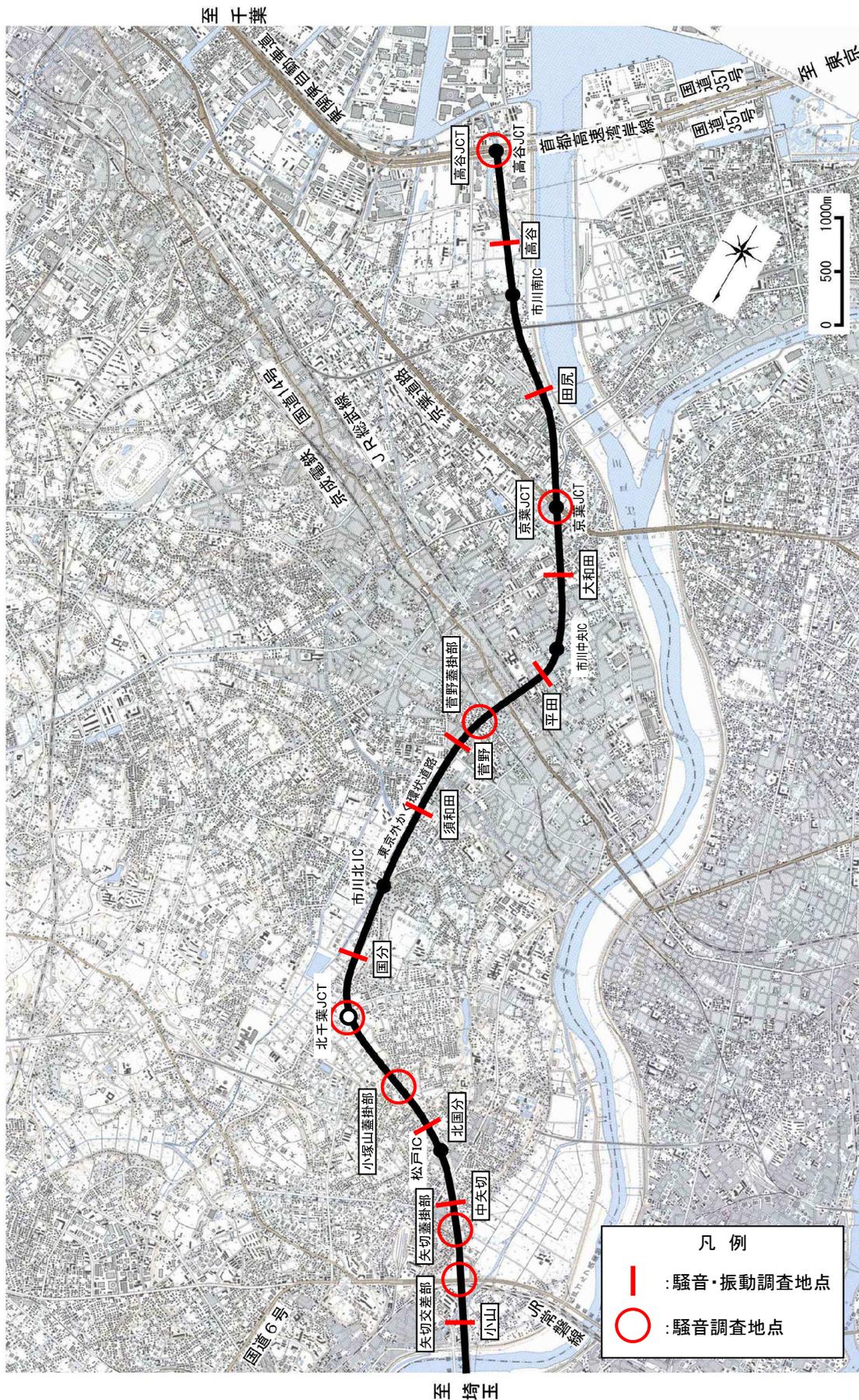
標準部: 365日間×24時間=8760時間

蓋掛部: 7日間×24時間×4回=672時間

長期的評価として250日(250日×24時間=6000時間)以上のデータが必要

(「環境大気常時監視マニュアル 第6編(環境省)より)

3. 騒音・振動調査地点位置図



3-1 騒音調査結果

測定日 H30.10.17~H30.10.18
H31. 4.25~H31. 4.26※1

●千葉外環供用時には北千葉JCTは調査結果から除く

(1) 等価騒音レベル (L_{Aeq})

(単位: dB)

No.	調査地点	調査結果(L _{Aeq})		環境基準 の評価	環境基準※2	
		昼間	夜間		昼間	夜間
1	小山	57.1	54.2	○	70	65
2	矢切交差部	56.0	51.9	○		
3	矢切蓋掛部	51.0	48.4	○		
4	中矢切	50.6	48.4	○		
5	北国分	48.8	45.8	○		
6	小塚山蓋掛部※1	49.6	47.0	○		
7	国分	49.3	46.5	○		
8	須和田	52.4	49.0	○		
9	菅野	53.5	48.8	○		
10	菅野蓋掛部	51.3	45.3	○		
11	平田	52.8	49.2	○		
12	大和田	52.3	46.9	○		
13	京葉JCT※1	58.5	50.9	○		
14	田尻	49.7	46.5	○		
15	高谷	54.6	51.9	○		
16	高谷JCT	61.6	58.3	○		

※2 幹線交通を担う道路に近接する空間
(昼間:6時~22時、夜間:22時~6時)

(2) 【参考】騒音レベルの中央値 (L₅₀)

(単位: dB)

No.	地点名	調査結果(L ₅₀)				環境保全目標※3			
		朝	昼間	夕	夜間	朝	昼間	夕	夜間
1	小山	57	57	54	52	65	65	65	60
2	矢切交差部	56	55	53	51				
3	矢切蓋掛部	50	49	47	45				
4	中矢切	51	50	47	46				
5	北国分	48	49	46	44				
6	小塚山蓋掛部※1	48	48	47	44				
7	国分	48	49	46	44				
8	須和田	54	52	49	47				
9	菅野	53	53	48	46				
10	菅野蓋掛部	50	51	46	44				
11	平田	52	53	49	48				
12	大和田	50	52	47	45				
13	京葉JCT※1	55	57	52	50				
14	田尻	51	49	46	45				
15	高谷	55	54	51	49				
16	高谷JCT	61	62	60	58				

※3 アセス書に記載されている騒音の環境保全目標
(朝:6時~8時、昼間:8時~19時、夕:19時~22時、夜間:22時~6時)

3-2 振動調査結果

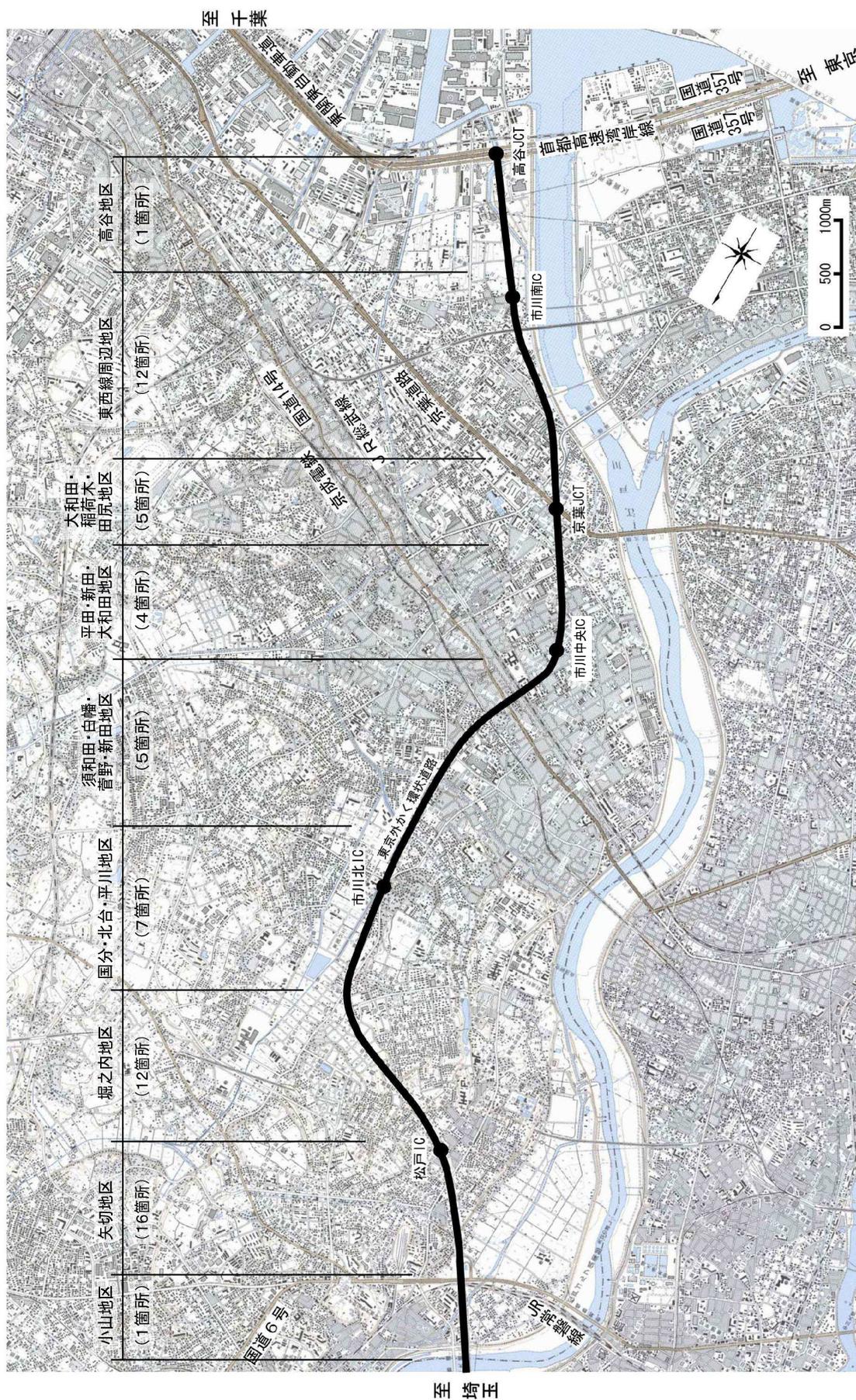
振動レベルの80%レンジ上端値 (L₁₀)

(単位: dB)

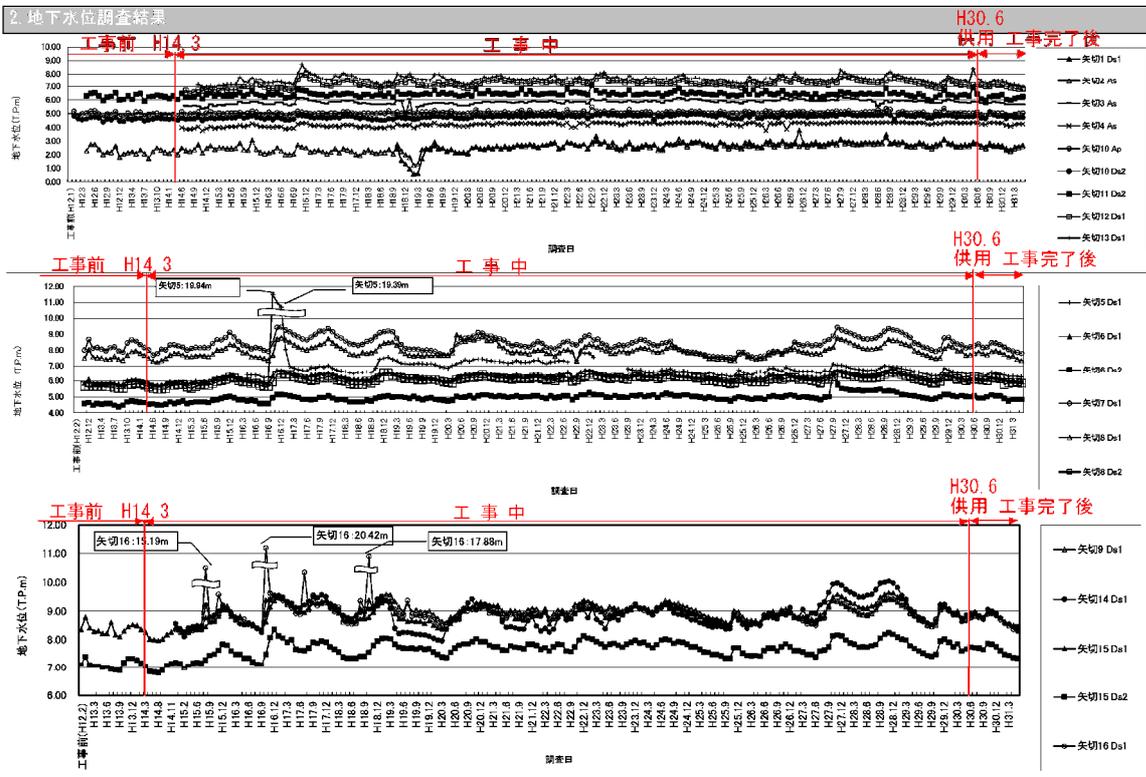
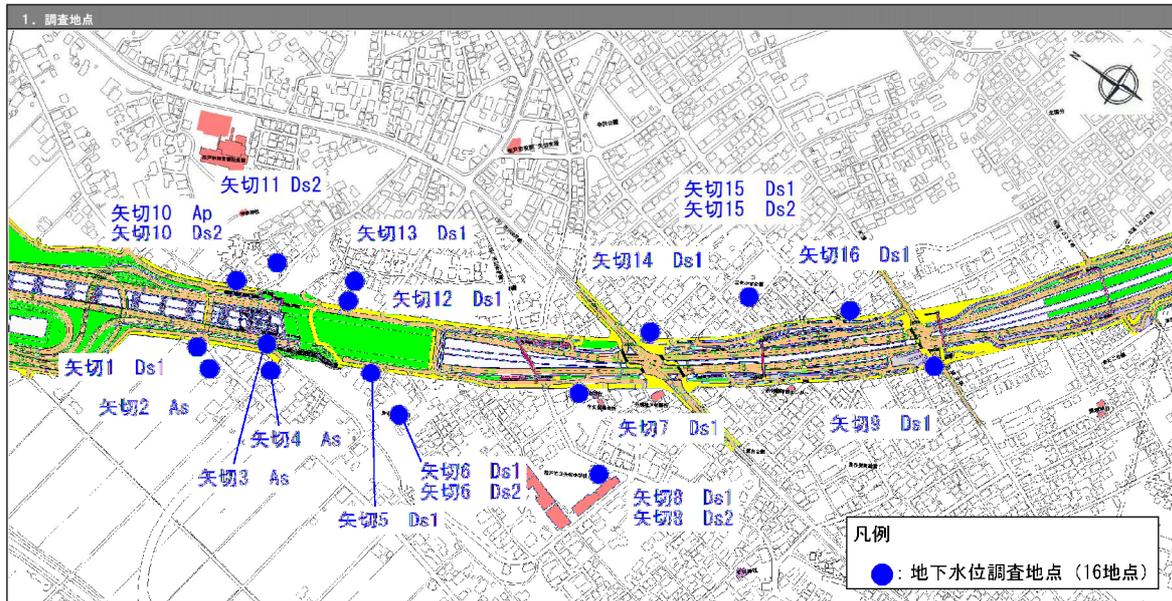
No.	地点名	調査結果(L ₁₀)		環境基準 の評価	環境保全目標※4	
		昼間	夜間		昼間	夜間
1	小山	36.1	34.8	○	65	60
4	中矢切	40.0	36.8	○		
5	北国分	35.8	33.7	○		
7	国分	36.1	33.1	○		
8	須和田	35.3	29.8	○		
9	菅野	32.6	25.8	○		
11	平田	35.0	29.7	○		
12	大和田	35.2	29.4	○		
14	田尻	37.2	31.3	○		
15	高谷	39.8	35.4	○		

※4 道路交通振動の要請限度

4. 地下水位調査地点位置図



矢切地区の地下水位

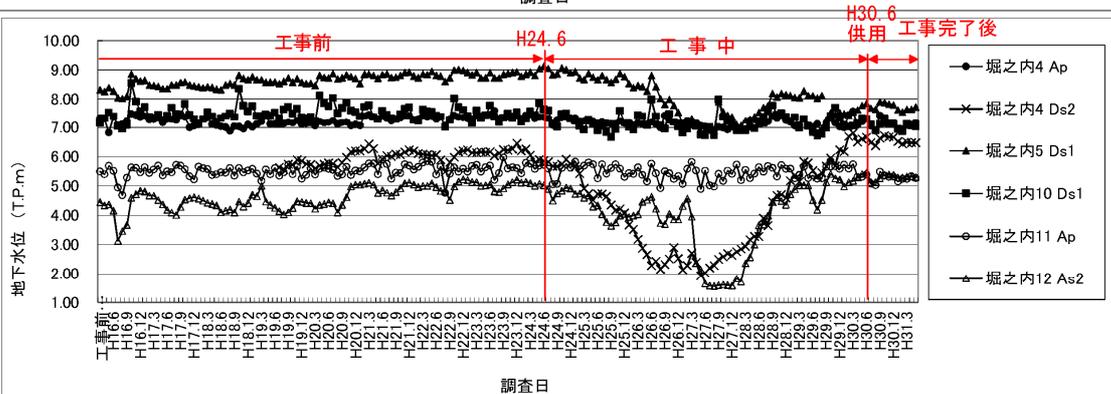
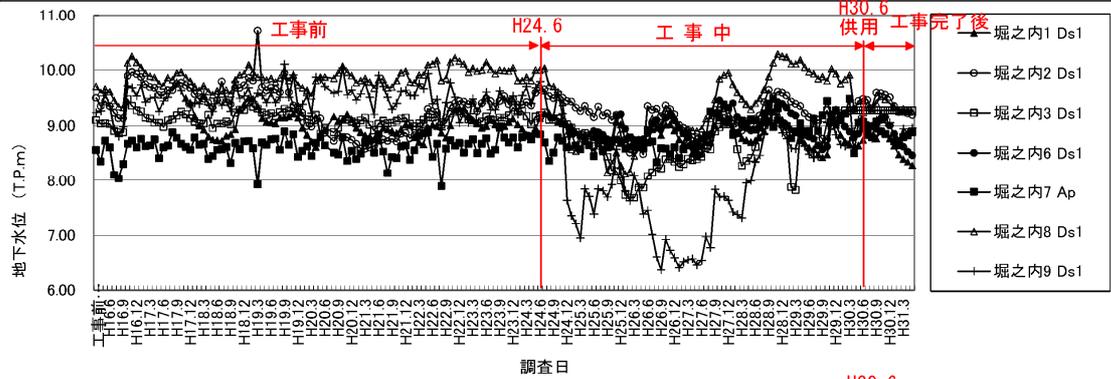


堀之内地区の地下水位

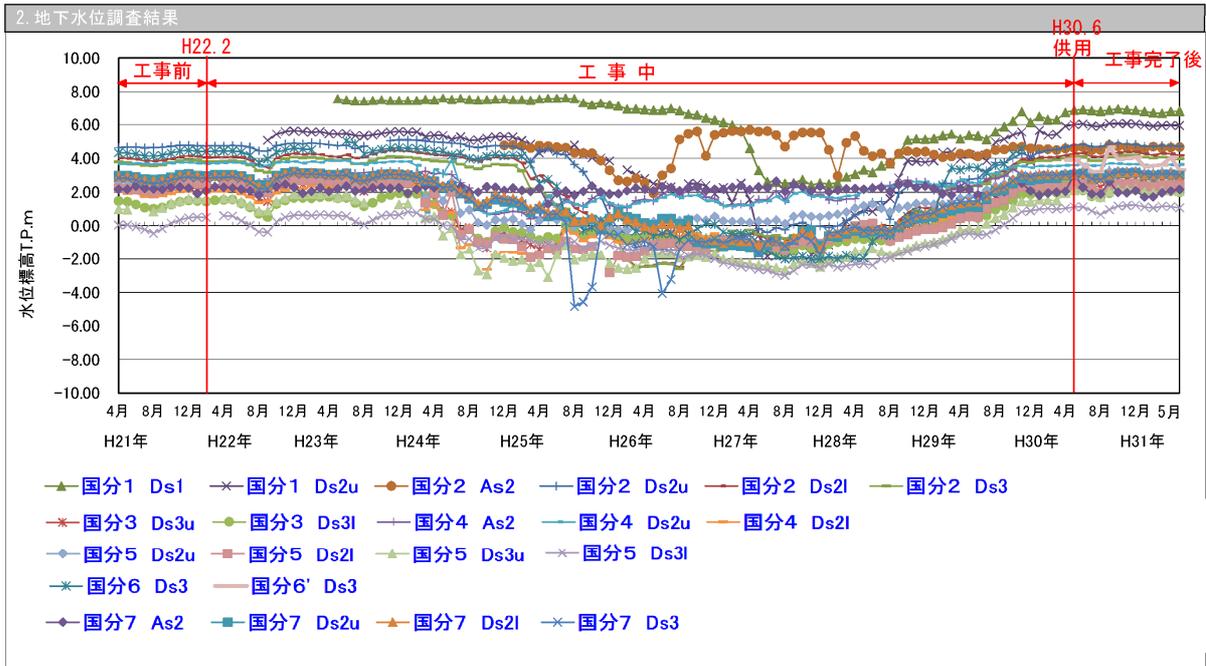
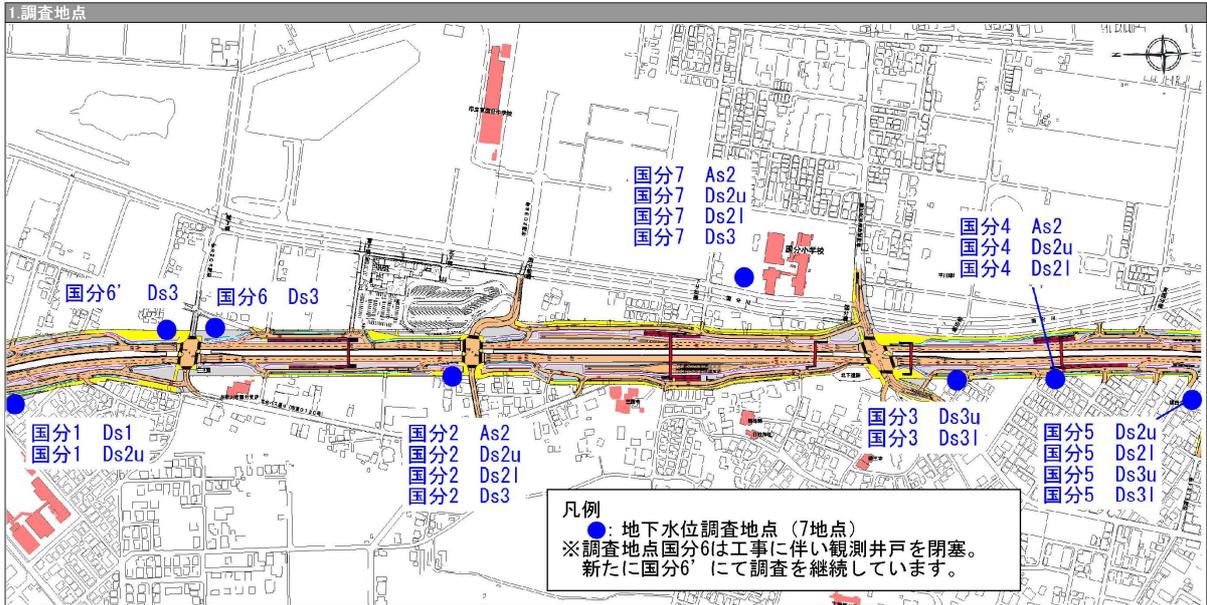
1. 調査地点



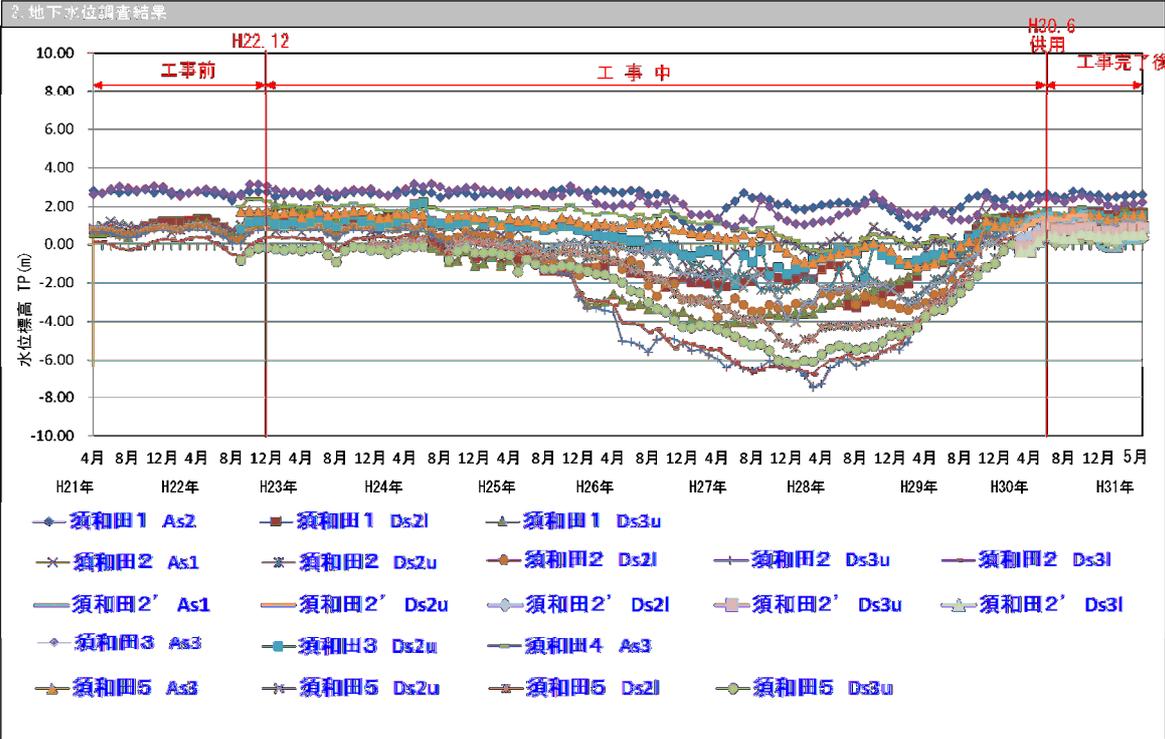
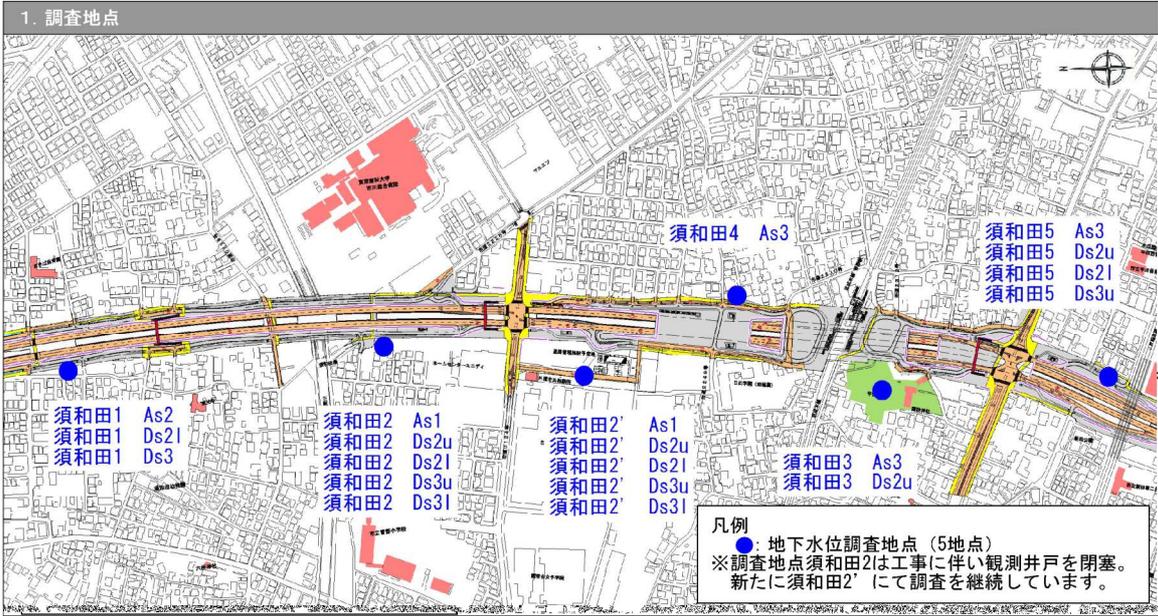
2. 地下水位調査結果



国分・北台・平川地区の地下水位

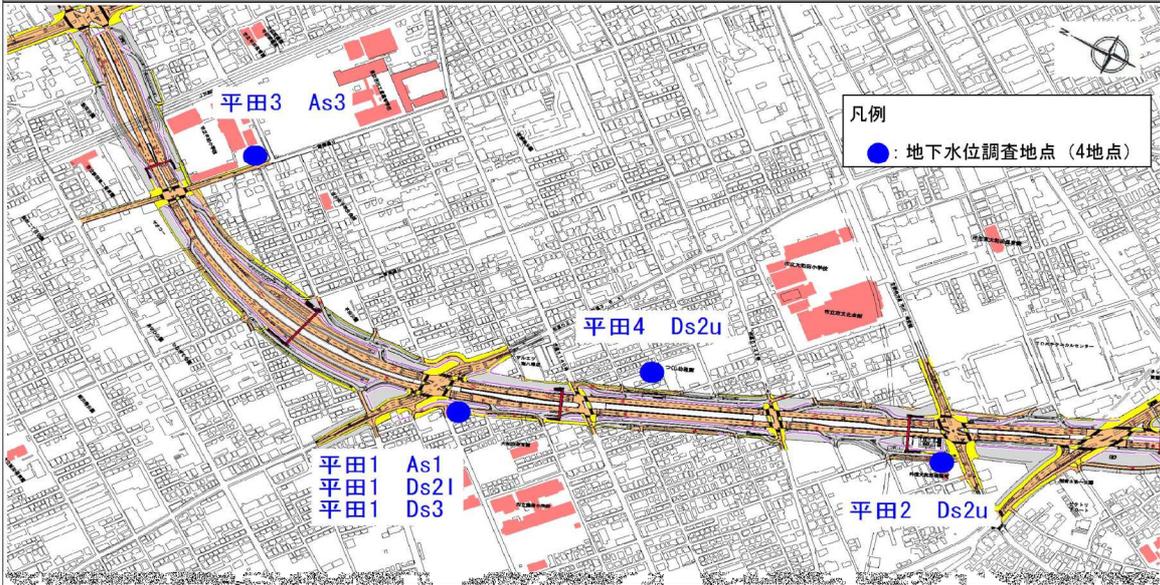


須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の地下水位

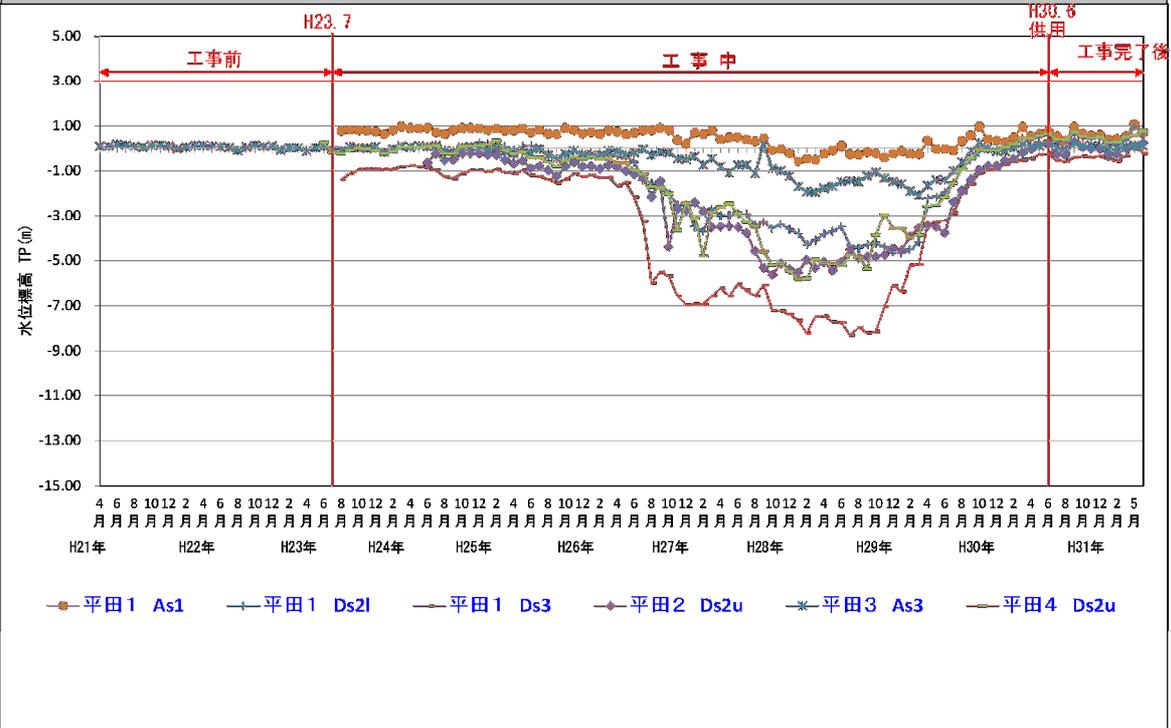


平田・新田・大和田地区の地下水位

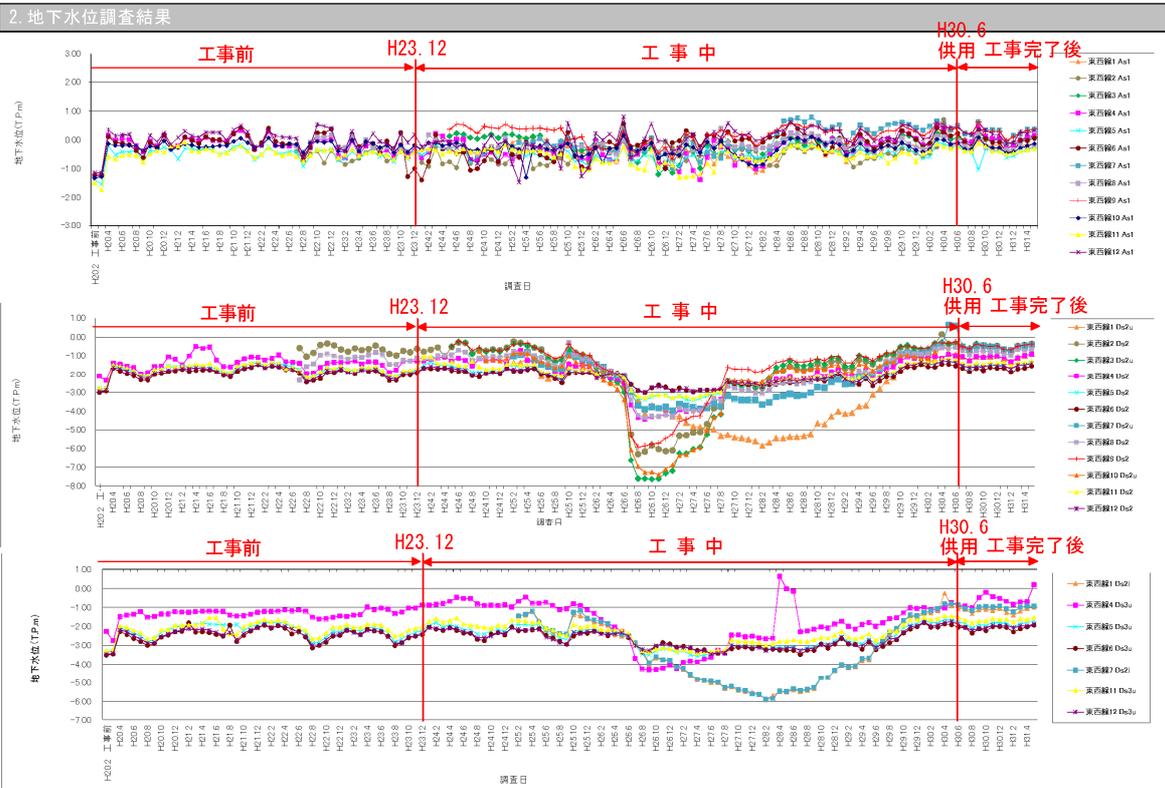
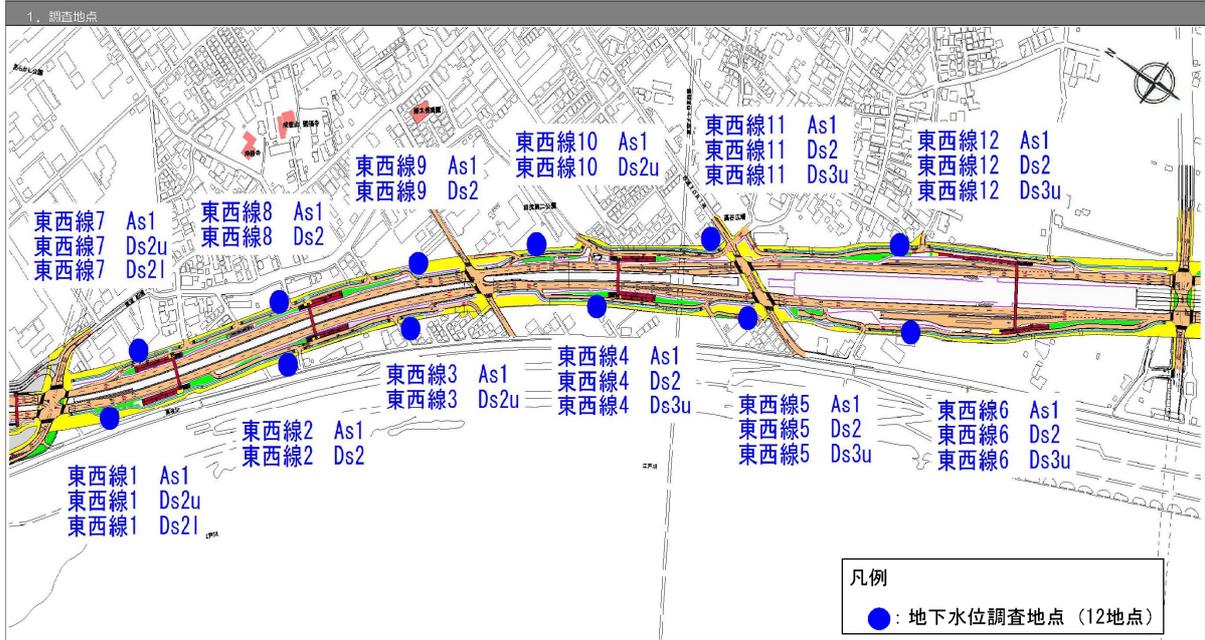
1. 調査地点



2. 地下水位調査結果



東西線周辺地区の地下水位



高谷地区の地下水位

